



公明党  
やまぐち  
山口  
けいこ  
恵子

## 太陽光発電設備 適正な設置へ対策前進

その他の  
質問事項

- ▼ おくやみ手続きのワンストップサービス
- ▼ 情報格差の解消と活用支援について

**問** 令和3年8月の大雨被害は市内で340箇所及び東山周辺はダメージが大きいと報告を受けた。東山地域では、太陽光発電設備の設置が集中しており住民は大雨による土砂災害などの不安を感じている。市内の設置状況は、抑制区域の明確化が必要では。

**答** 定格出力10KW以上の野立て設置件数は120件、昨年度の届出は10件、今年度は5件で、相談案件は5件程度。特定区域に申請が集中し、山間部であるため、抑制区域の設定が必要。砂防指定地、地すべり防止区域、急傾斜地崩落危険区域等を考えている。

**問** 条例制定と罰則規定に関する見解は。

**答** 災害の防止、良好な景観形成との調和を図る目的で制定したい。条例を根拠に必要な措置、改善を行うよう勧告、従わ



設置が進む太陽光発電パネル (8月)

ない場合は事業者名の公表、国又は県への報告を考えている。  
(生活環境課)

**◆子どもの視力検査**  
**問** 子どもは3歳までに急激に視覚が発達する。3歳児健診では、遠視や、近視、乱視などの屈折異常の検査が重要。対応は。

**答** 弱視のリスクを早期発見するため、視能訓練士による屈折検査を平成23年度から実施している。眼科受診を勧奨したケースは検査導入前の2・8%から昨年度は13・4%に増加し早期発見につながっている。  
(健康づくり課)

## コロナと災害から市民の生命と生活を守る



市民派連合  
ふるはた ひでお  
古畑 秀夫

その他の  
質問事項

- ▼ 保育園、児童館、学校での感染防止対策は
- ▼ 避難指示と避難所運営について

**◆災害防止対策は**  
**問** 市内には土砂災害が想定される箇所は多くあるが、どのような対策をしているのか。

**答** 土砂災害対策は県松本建設事務所が実施しており、現在、市内では砂防事業5箇所、急傾斜地崩壊対策事業2箇所を実施している。災害が想定される箇所の早期事業化

を県に要望していく。  
(建設課)

**◆コロナ感染者の対応は**  
**問** 松本圏域で入院と判断されたが入院できなかった人はいるのか。自宅療養や宿泊療養中に容体が悪化し入院した事例はあるか。入院できずに亡くなった方はいるのか。

**答** 医師が入院を必要と判断した人は全員が入院できている。また、自宅療養や宿泊療養中に容体が悪化して、入院となったケースはあるが、自宅療養中に急変して亡くなった方はいない。  
(ワクチン接種推進室)



8月豪雨災害 (市道塩尻勝弦線)

**◆空き家対策補助金**  
**問** 制度の内容は。

**答** 移住定住を促進するため、空き家活用の一環として、空き家の片付けやリフォーム、解体除去に補助金を交付するもので、本年7月からは「居住誘導区域」の旧耐震基準の空き家解体事業補助金の上限を50万円から100万円に引き上げた。  
**要望** 空き家は「居住誘導区域」だけでなく市内全域で多くなっている。空き家解体補助金100万円を全市へ広げていただきたい。

(建築住宅課)